

＝令和元年度竜王小学校だより＝

竜の子



令和元年11月28日
No. 26
校長 小尾 一彦

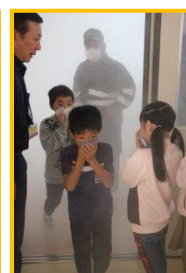
「森から見える」中間発表！

11月19日(火)に5年生は、東京大学より中村和彦先生をお招きし、総合的な学習の時間に取り組んでいる「森からみえる」の中間発表を行いました。中村先生には、癒しの森への校外学習でもお世話になりました。林間学校のハヶ岳や校外学習での癒しの森での自然体験をもとに、興味や疑問を持ったことを、研究テーマにしてグループごとに発表しました。中村先生より、それぞれのグループへの講評とともに、今後の課題について指導してくださいました。その課題をもとに12月に最終発表を行います。



■煙体験（1年生）&避難訓練（全校）を行いました！～自分の命は自分で守る～

11月19日(火)の2校時に、1年生は煙体験を行いました。火事の時、煙からどのように避難するか、どのような行動をとればよいかを、講師の先生に話を聞いたあと、実際に体験学習をしました。講師の先生からは「自分の命を守るために、練習のとき失敗してもいいけれど、ふざけてはいけない」という言葉に、1年生なりに真剣に取り組むことができました。



11月21日(木)に、給食室から出火したという想定で、火災避難訓練をしました。今回も、子どもたちには、どの時間帯にするかは予告なしで行いました。「自分の命は自分で守る」ためには、①落ち着いて危険から遠いところへ避難する（「お」…おさない、「は」…はしらない、「し」…しゃべらない、「も」…もどらない）、②真剣に訓練することが大切です。



多くの子どもたちが、その意識を持って避難をしていました。これからも「自分の命は自分で守る」意識と行動を忘れないでいてほしいです。

■ 全校で落ち葉拾いをしました！

11月25日（月）の昼のつどいの時間に、児童会の環境・美化委員会主催で、たてわり班ごとに落ち葉拾いをしました。6年生の的確な指示と班の協力で、たくさんの落ち葉を拾うことができました



■ 勇気のかんづめ～3年1組道徳授業～

11月6日（水）に3年1組の平塚先生が道徳の研究授業を行いました。中巨摩の先生方の研究会「特別の教科 道徳」部会の授業として多くの先生方の参観の中で行いました。「本当の勇気とは」という主題で、「勇気のかんづめ」という資料で行いました。デパートへ買い物に行ったとき、「勇気のかんづめ（100円）」が売られていました。このかんづめを買うかどうかから授業が始まりました。買う人、買わない人、それぞれが意見を出し合いました。そして、実際にかんづめをあけると、「ボクニタヨルナヨ。ヨワムシ」という紙が入っていました。そして、この言葉の意味や勇気の正体を考えた後、班ごとに「自分の中の勇気を引き出すコツは何か」を話し合いました。それぞれが考える「勇気」、これからの生活の中で生かしてほしいと思います。



■ 山梨大学教職大学院生が研究授業を行いました！ ～内川先生&久保田先生～



11月5日（火）の3・4校時に、内川先生が2年3組で生活科の研究授業を行いました。「実の中に何が入っているか」「実はどこにできるか」という課題を、写真を手がかりに考える授業でした。理科的要素も含まれていて、2年生としては高度な授業でしたが、子どもたちは一生懸命に考えて取り組んでいました。椿（つばき）の種を削っての笛づくりでは、みんな楽しく活動し笛を吹いていました！



11月12日（火）の5・6校時に、久保田先生が5年1組で道徳の研究授業を行いました。5年生一人あたりに1年間にかかる生活費について調べ、そのことをもとにお家に人に伝えたいことを考えました。（→1年間に95万円の生活費がかかり、そのお金をかせぐために1日8時間で146日間働かなければならない。）自分たちが生活するのに必要なお金をかせぐために、お家の人が働いてくれることに対して、多くの子どもたちは感謝の言葉を述べていました。

